



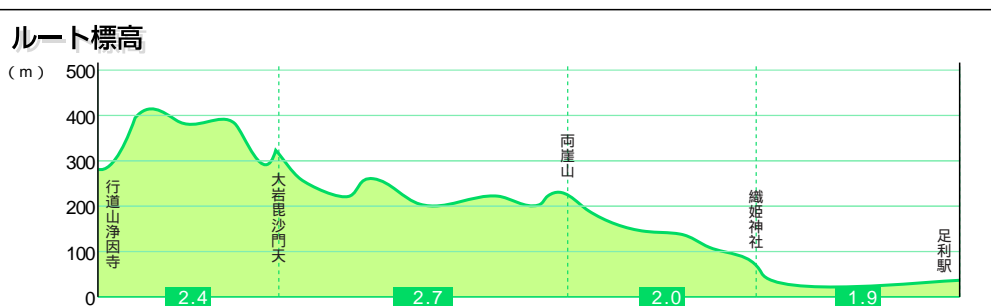
首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

栃木県

7 歴史のまちを望むみち 9.0km

「関東の高野山」とも言われる行道山浄因寺を出発し、露岩地の多い、展望のきく明るい尾根伝いに歩くと、大岩毘沙門天、足利城跡（両崖山）を經由して織姫神社に着きます。織姫神社の石段を下り、ばん阿（な）寺、足利学校などの史跡を訪ねながら市街地の中を進むと足利駅に到着します。



踏破認定撮影ポイント



行道山浄因寺(清心亭)

断崖絶壁に囲まれた山中にあり、「関東の高野山」とも言われるこの寺は和銅7年(714)行基(ぎょうき)上人の開創と伝えられる名刹です。

断崖の上に清心亭が建つ風景は南画さながらの景勝の地として、昭和50年に県の名勝第1号に指定されています。

問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
栃木県県南環境森林事務所 環境企画課
足利市役所 商業観光課

〒320-8501 宇都宮市壩田 1-1-20 TEL.028-623-3206
〒327-8503 佐野市堀米町 607 TEL.0283-23-1441
〒326-8601 足利市本城 3-2145 TEL.0284-20-2165

コース周辺の見所



大岩毘沙門天

大岩毘沙門天(最勝寺)は、京都の鞍馬山(くらまやま) 奈良の信貴山(しきさん)とともに日本三毘沙門の一つとして知られています。

天平17年(745)行基(ぎょうき)上人が、聖徳太子作といわれる純金像を祀るのにふさわしい場所を探していたときに、夢枕に神人が立ち、大岩山を教えてくれたということに起源を發します。



織姫神社

約1,200年の歴史と伝統を誇る機業地足利の守護神として、天八千々姫命(あめのやちぢひめのみこと) 天御針命(あめのみほこのみこと)の二柱の神を勧請し、その分霊が祀られています。

朱塗りの社殿は平成16年に国の登録有形文化財として認定されています。



織姫公園 もみじ谷

織姫公園北部のモミジ谷には、1,000本を超えるカエデが植えられており、秋には、沢沿いが素晴らしい紅葉につつまれます。



織姫公園 つつじ

昭和51年につくられた、面積10.5haの公園で、園内には、サクラやカエデとともに多くのツツジが植えられており、5月には色とりどりのツツジが咲き乱れ、多くの観光客が訪れます。



鏝阿寺(ばんなじ)

足利氏2代目義兼(よしかね)が建久7年(1196)自らの館内に持仏堂を建て、守り本尊として大日如来を祀ったのが始まりで、3代目義氏(よしうじ)が堂塔伽藍(がらん)を整備し足利氏一門の氏寺としました。

周囲に土塼と堀をめぐらした寺域は、ほぼ正方形で約40,000㎡あり、鎌倉時代の武士の屋敷(平城)の面影を今に伝えています。国、県、市の重要文化財が数多くあり、歴史の宝庫です。



足利学校

日本最古の総合大学といわれ、フランシスコ・ザビエルにより「日本国中最も大にして最も有名な板東の大学」と世界に紹介されたほどです。

天文年間(1532~1554)の頃には、学徒三千人と言われ、当時の日本を代表する学校として、易学や儒学を中心に実践にも役立つ学問を教えていました。